



Tokyo Woman's Christian University

東京女子大学

2025年度
前期

共催：杉並区教育委員会
杉並区内大学公開講座

昭和100年 近現代日本の歴史を どう評価するか

6/19・26・7/3・10
13:15~14:45
(各回 木曜日)

日本の過去を礼賛するばかりの歴史観、自由主義的な思考をあざ笑う主張などがあふれています。一方、これを否定する立場の人も、既得権益やこれまでの思考に拘泥して歩みよりません。それが社会の分断を深めています。私たちは遠くも足許も見えない時代に生きているように思います。この講座では、昭和100年の今日、あらためて、現在の基になった近現代の日本の歴史を考えます。歴史上のできごとではなく、歴史学で近現代の日本をどう評価しているのかを論じます。歴史の解釈は時代によって変化します。現在の最新の歴史学の解釈は、社会問題の鏡でもあります。社会の分断を広げないために、わたしたちの社会の過去をどうとらえるべきか、みなさまと考えたいと思います。



講師： 酒井 一臣

東京女子大学
国際社会学科 教授

会場

9号館 1階 9103教室

受講料

無料

定員

150名

対象

一般（社会人・卒業生・教職員）・学生
※抽選の場合は区民優先

申込締切

6月11日（水）

お申込み

詳細・お申込みは↓→



https://www.twcu.ac.jp/main/event/2025/0619_01.html

第1回

〈坂の上の雲 明治時代にジャパニーズ・ドリームはあったのか〉
明治時代は輝かしい進歩と発展の時代というイメージを問い直します。

第2回

〈デモクラシーの功罪 民主化とポピュリズムのあいだ〉
日露戦争から昭和初期は日本の民主化の進んだ大正デモクラシーの時代。
民主化の進展が戦争をまねくという逆説を考えます。

第3回

〈昭和は遠くなりけり 連続する戦争と戦後〉
太平洋戦争で日本は壊滅。戦後は平和国家に生まれ変わった。
この解釈は正しいのかを問い直します。

第4回

〈平成くん、さようなら 絶望の日本〉
平成不況は、日本社会を変えてしまった。
古市憲寿『平成くん、さようなら』を材料に平成史から
現在を歴史学の視点で解釈します。

講師

プロフィール

講師： 酒井一臣
東京女子大学
国際社会学科 教授

経歴

1973年 岡山県生まれ
大阪大学文学研究科修了。文学博士

現在の研究・関心

国際関係史
日本と西洋の関わりについての思想史

主な著書

『はじめて学ぶ日本外交史』
『帝国日本の外交と民主主義』など

アクセス

- 西荻窪駅
・北口より徒歩12分
・北口(1番のりば)より吉祥寺行バスで「東京女子大前」下車
- 吉祥寺駅
・北口(3番のりば)より西荻窪駅行バスまたは上石神井駅行バスで「東京女子大前」下車
- 上石神井駅
・南口(1番のりば)より西荻窪駅行バスで「地藏坂上」下車、徒歩5分
・南口(1番のりば)より吉祥寺駅行バスで「東京女子大前」下車



■お問い合わせ■

東京女子大学 教育研究支援課

E-mail: koukaikouza@gr.twcu.ac.jp

Tel: 03-5382-6470

月～金(祝日を除く) 9:00～17:00(11:25～12:25を除く)